

## 株主メモ

■ 決算期日	毎年12月31日
■ 定時株主総会	毎年3月
■ 基準日	毎年12月31日といたします。 (その他必要ある場合は、 あらかじめ公告いたします。)
■ 利益配当金支払 株主確定日	毎年12月31日
■ 中間配当金支払 株主確定日	毎年6月30日
■ 名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
■ 同事務取扱所 (郵便物送付先) お問い合わせ先)	UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-111-698
■ 同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店および全国各支店
■ 公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 ※決算公告につきましては、第35期より日本経済新聞による 決算公告に代えて下記インターネットアドレスに掲載して おります。 <a href="http://www.aspir.co.jp/kessan/6412/6412.html">http://www.aspir.co.jp/kessan/6412/6412.html</a>

### ■ 株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、株式名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けしておりますので、ご利用ください。

フリーダイヤル 0120-24-4479 (本店証券代行部)

0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)

インターネットアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

※2004年3月27日より、当社株式の名義書換代理人を「中央三井信託銀行株式会社」から「UFJ信託銀行株式会社」に変更しております。

## 株式会社 平和

〒376-8588 群馬県桐生市広沢町2-3014-8

本誌の内容に関することは広報室にお問い合わせください。TEL 03-5770-8888

URL <http://www.heiwanet.co.jp/>



## 第36期 中間事業報告書

平成16年1月1日～平成16年6月30日



## 永遠の原点

最新のエレクトロニクス技術を駆使して  
今やレジャー産業の雄に成長したパチンコ産業。

平和は常にその先頭を走ってきました。

戦後の暗闇の中で、人間にとって最も尊く大切なことは

「平和」であると痛感した瞬間から、私たちの道は始まりました。

パチンコ産業は「平和」の象徴でありたい、その熱い想いが社名になりました。

時代が変わり、時が移っても、その創業の精神は脈々と受け継がれ

一人ひとりの心に息づいています。

平和こそ、私たちの原点。

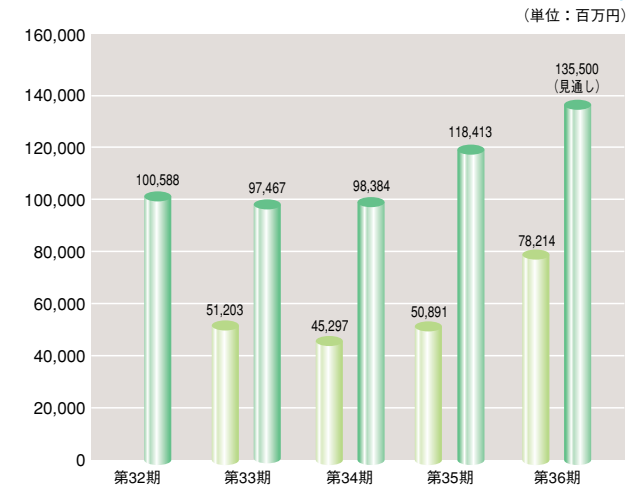
## 目次

財務ハイライト	2
トップインタビュー	3
セグメント別の概況と通期の見通し	7
HEIWAトピックス	10
連結・単独財務諸表	11
関連会社のご紹介	13
株式の状況・会社概要	14

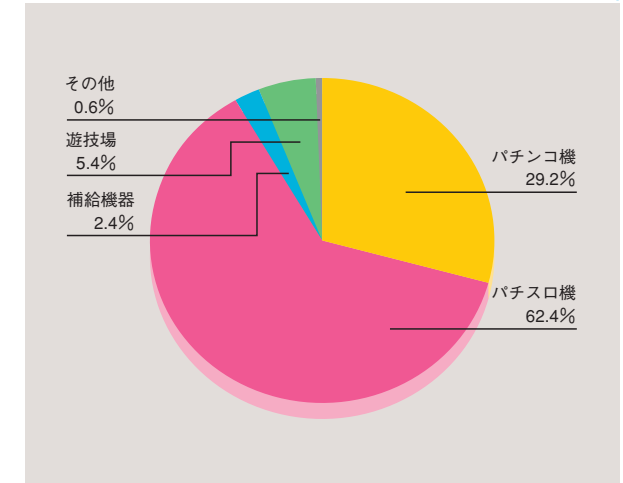
## 財務ハイライト (連結)

中間期 通期

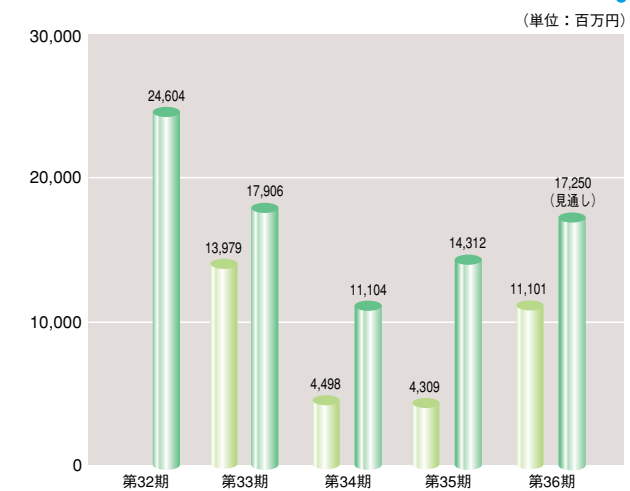
### 売上高



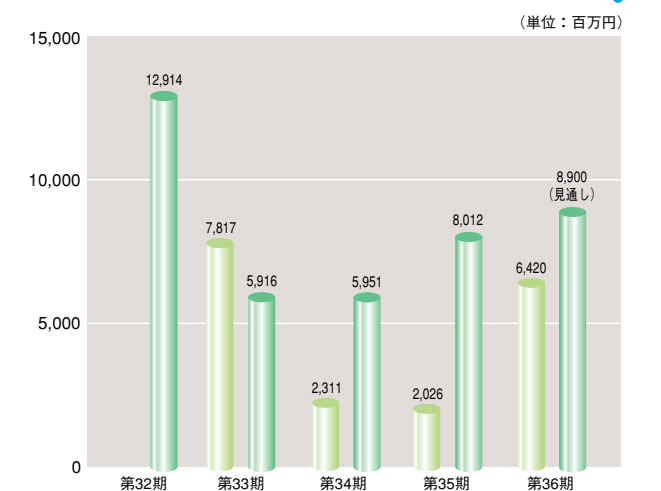
### セグメント別売上高構成比



### 経常利益



### 当期純利益



### 「顧客ニーズにあった製品開発を促進し、 高収益体質への変革を 実現します」



代表取締役社長 中島 潤

株主の皆様には日ごろより格別のご高配を賜り、ありがとうございます。お礼申し上げます。

当社の中間期の業績・今後の見通し・株主の皆様からの質問などについて、この機会にご説明させていただきたいと思っております。



#### パチンコ・パチスロ業界の動向

##### —パチンコ市場の規模は？

ご存知の通り、パチンコ市場は日本最大のレジャー産業です。市場規模（貸玉料）は2003年で29兆6,000億円と前年比14%のプラスでした。ここ10年ほどは27～30兆円で安定しています。

参加人口は昨年で1,740万人ですので、成人の17%がパチンコ・パチスロを楽しまれていることとなります。

パチンコホールは全国に16,000店ほどあり、パチンコ機が322万台、パチスロ機は166万台ほど設置されています。

ここ数年の傾向として、貸玉料は増加しつつも参加人口が減少気味です。こういったヘビーユーザーが増加している現象は業界全体の発展を考えた場合、必ずしも望ましい状況ではありません。

##### —では、パチンコ機・パチスロ機の市場規模は？

当社の主力事業であるパチンコ機・パチスロ機の市場ですが、昨年の市場規模は1兆2,000億円程度です。ここ数年のスパンで見るとパチンコ機市場は微増、パチスロ機市場は二桁の伸びを示しています。

##### —今後の市場において重要なポイントは何でしょうか？

規則改正です。パチンコ機・パチスロ機のあり方を定めている遊技機規則が今年7月、9年ぶりに改正されました。業界に与えるインパクトは大きなものがあります。

##### —具体的にはどういった変化があるのでしょうか？

#### ■パチンコ機

パチンコ機は、ゲーム性が広がります。パチンコをされる方はよくご存知かと思いますが、最近は似通ったゲーム性の機械しか売れない状況になっていました。しかし、規則改正で今までとはまったく異なったタイプのパチンコ機を作ることが可能になります。メーカーとしては開発力が試されています。

でも、開発チームは今までに作れなかったものを作れるということで、やる気がみなぎっていますよ。

#### ■パチスロ機

パチスロ機は、ここ数年、高い射幸性を備え行き過ぎた感がありましたが、それが正常化されます。パチスロファンの皆様に遊びやすい台が主流となり、パチスロの参加人口が増えるのではないかと期待しています。

また、パチンコ玉で遊べるパチスロ機「パロット」の開発が可能になりました。パチンコファンの皆様にもスロットの楽しさを知っていただくよい機会になるのではと考えています。



#### ■中間期の業績

##### —中間期における業績は？

中間期（2004年1～6月）の連結での業績は売上高782億円、

経常利益111億円となり、昨年に比べ大幅に業績を伸ばしました。

##### —その原因はどこにあるのでしょうか？

パチンコ機事業の復調とパチスロ機事業の更なる拡大です。

#### ■パチンコ機事業の復調

パチンコ機事業はここ数年低迷していました。しかし、1～6月で122,201台を販売し、売上高が228億円と前年同期比で80%の伸びを見せました。これは当社が一昨年に行った開発体制の改革の成果が現れてきた結果です。





—具体的にどんな改革を行ったのでしょうか？

企画機能と開発機能を明確化し、「顧客本位」の製品作りのための体制にしました。パチンコファンの皆様にご好評をいただいているタッチセンサーはこの体制の成果の1つです。

また、部品の共通化などによるコストダウンの成果も現れています。

■パチスロ機事業の拡大

パチスロ機は、今期発売した2機種ヒットにより182,415台を販売し、売上高が488億円となりました。当社のパチスロ機は市場の高い評価を得ており、パチスロ機市場に参入して5年にして、業界3位という確固たる地位を手に入れました。

■ □  
□ 今後の見通し

—通期の業績は？

連結での通期業績は売上高1,355億円、経常利益172億円と見込んでいます。

パチンコ機は今期中（12月まで）に、新規対応の機種を発売したいと考えています。通期で302,000台を販売していく予定です。

パチスロ機は現在販売している「主役は銭形」を引き続き販売し、通期では230,000台の販売を予定しています。

—来期以降については？

パチンコ機市場においては、新しい規則に対応した多様なゲーム性の機種を、スピーディーに発売していきます。

規則改正により、今までと同じようなゲーム性の機種

ばかりではなく、様々なゲーム性を持った機種を作ることができます。私としては、新たなるパチンコファンを呼び込むことができると考えています。

—規則改正がパチスロ機事業に与える影響は？

当社のパチスロ機事業は射幸性に依存することなく、ゲーム性を重視した企画を行っていました。そしてその姿勢が、パチスロファンの支持を得てきました。今後、パチスロ機はゲーム性が重視されるので、私たちにとってはチャレンジでもあると同時にチャンスだと考えています。

—パチスロ機事業では自社開発・生産体制を構築しているそうですが？

現在のところ、パチスロ機事業においては、業務提携先の(株)オリンピアと共同で企画を行い、(株)オリンピアが生産した機械を仕入れ、当社で販売しています。

一方で、当社はパチスロ機の自社開発・生産体制を整えています。具体的な生産・販売開始の時期は市場動向によりしますので、申し上げられませんが、今後は(株)オリンピアとの共同企画機種の販売を継続しつつ、自社開発機も販売していくつもりです。

—中・長期的な経営目標は？

当社の中期的な課題は高収益体質の実現だと考えています。4年後のROE（株主資本利益率）8%、売上高経常利益率25%が目標です。

そのための具体的な手段が先ほど述べました、パチンコ機事業における開発体制の改革、パチスロ機事業における自社開発体制の促進、それに経営効率化によるコス

ト削減です。

■ □  
□ 株主の皆様からのご質問

—配当政策について

当社では安定配当を基本方針としながらも、大きく業績が向上した場合に、増配をしたいと考えています。また、自社株式の取得については、株式市場の動向を勘案しつつ、機動的に行いたいと考えています。

—内部留保についての考え方は？

内部留保については、関連事業への投資を行っています。具体的には、先ほどご説明しましたパチスロ機の自社開発、子会社のコムシード(株)のパチンコ関連情報提供サービス事業（詳細は10ページ参照）などがあげられます。

また、パチンコ機・パチスロ機事業を主力事業としている当社の場合、業界全体の動向により業績が大きく左右されます。今までも市場規模が数年間、その直前にあったピーク時の半分にまで落ち込んだケースがありました。そういった市場を主力事業としている特性上、安定配当のためにも、ある程度の内部留保は必要であることをご理解いただければと思います。

—最後に

今後も、全国のパチンコホールおよびパチンコファンの皆様に喜んでいただける製品を開発・提供し、高収益体制を実現することにより、株主の皆様のご負託にお応えしていく所存です。引き続き変わらぬご支援をお願いいたします。

## セグメント別の概況と通期の見通し

### パチンコ機事業

#### ●概況

パチンコ機市場は、昨年363万台となり2002年より11.4%の伸びとなりました。今年上期は前年同期とほぼ同様の180万台程度となっています。

また、パチンコ業界の売上高をしめす貸玉料が2003年は前年比1.4%増の29兆6,000億円となる一方で、パチンコ参加人口が減少するなど、ファン構造がヘビーユーザー中心になってきています。

そのような状況で、当社は「木枯し紋次郎」(1月発売)、同名機種のパチスロ機をモチーフとしたHEIWA BROS「バニーガール」(2月発売)、1994年に発売した「名画」を美しい液晶でリメイクした「新名画」(3月発売)、ライトユーザーにも好評の第2種(羽根モノ)の「ダブルウイング」(3月発売)、「ドラゴンモンキー」(5

月発売)、人気タレントTIMが活躍するHEIWA BROS「あっ命」(6月発売)の計6シリーズを発売しました。

その結果、中間期における販売台数は122,201台(前年同期比40,635台増)となりました。

#### ●通期の見通し

遊技機規則の改正に対応した機種が年末までに登場することが予想されます。当社としては旧規則対応のパチンコ機を継続的に市場に提供しつつ、新規則対応の機種をスピーディーに市場に提供することにより、通期で販売台数302,000台、売上高575億円を見込んでいます。

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	増減額	増減率
売上高	22,821	12,676	10,145	80.0%
営業利益	7,018	2,369	4,649	196.2%

### パチンコ機 新機種紹介



#### ■木枯し紋次郎

(2004年1月発売)

30年前に大ヒットした異色時代劇、中村敦夫氏主演の「木枯し紋次郎」をパチンコ機に採用。アナログ演出により液晶前面に吹雪が舞い踊る吹雪予告、いきなり確変に突入する紋次郎チャンス(EJのみ)など数々の新機軸を採用しました。



#### ■ドラゴンモンキー

(2004年5月発売)

西遊記のキャラクターが活躍し、大当たり中にはタケカワユキヒデ氏が作詞・作曲したオリジナル曲が流れます。「どこでもステップアップ予告」や大当たり中にいつでも確変昇格のチャンスがある「再々抽選」を採用しました。

### パチスロ機事業

#### ●概況

パチスロ機市場は、昨年172万台となり2002年から28%の大幅な増加となりました。今年上期も昨年同様、順調に推移しています。そうした中、当社のパチスロ機はここ数年コンスタントにヒットを重ねており、市場で高い評価をいただいています。

また、今年7月に施行された遊技機規則の改正によりパチスロ機市場に関しては一時的に不透明な状況も予想されます。

そのような状況で、当社は「アントニオ猪木自身がパチスロ機」(1月発売)と「主役は銭形」(5月発売)の2機種を発売しました。

その結果、中間期における販売台数は182,415台(前年同期比73,795台増)となりました。

#### ●通期の見通し

規則改正の影響もあり、パチスロ機市場全体としては、伸びは期待できない状態です。しかし当社に関しては、5月より発売している「主役は銭形」が引き続き好評をいただいていることもあり、通期で販売台数230,000台、売上高608億円を見込んでいます。

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	増減額	増減率
売上高	48,832	30,408	18,423	60.6%
営業利益	8,746	3,372	5,374	159.4%

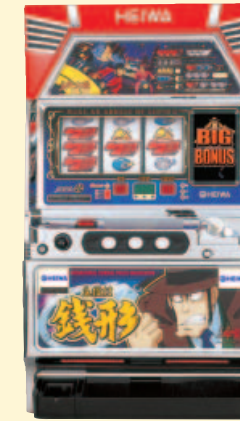
### パチスロ機 新機種紹介



#### ■アントニオ猪木自身がパチスロ機

(2004年1月発売)

昨年の大ヒット機種「アントニオ猪木」という名のパチスロ機の後継機種。12万台を超えるセールスを記録し、当社のパチスロ機として最大のヒット機種となりました。前作で人気の高かった演出を進化させ、さらに「道演出」を発展させた「チャンピオンロード」を搭載しました。



#### ■主役は銭形

(2004年5月発売)

ルパン三世シリーズのパチスロ機第3弾。1作目の「ルパン三世」、2作目の「不二子」に引き続き、3作目ではルパンの永遠のライバルである銭形警部を主役に抜擢。当社のパチスロ機の定番ともいえる多彩な演出も魅力です。

## 補給機器事業

当事業ではパチンコホールに必要なホールコンピューターやパチンコ玉・メダルの補給機器などを取り扱っています。

補給機器市場はここ数年縮小する傾向にあり、事業環境は厳しい状況にあります。中間期の売上高は18億円（前年同期比1.7%減）、営業損失は1億円になりました。

こうした状況をふまえ、補給機器販売の機能強化を目的に今年5月、補給機器事業部門を分社化しました（10ページ参照）。通期では売上高53億円を見込んでいます。

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	増減額	増減率
売上高	1,844	1,874	△ 30	△ 1.6%
営業利益	△ 139	△ 290	151	—

## その他

当事業は再保険業・投資事業・情報提供サービス等、主にグループ会社によるものです。コムシード(株)が新たに連結対象となったため、売上高・営業利益が伸びています。

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	増減額	増減率
売上高	488	101	387	380.4%
営業利益	287	140	147	104.8%

## 通期（平成16年12月期）の見直し（連結）

(百万円未満切捨表示)

	通期予想	前期	増減額	増減率
売上高	135,500	118,413	17,086	14.4%
営業利益	18,640	14,109	4,530	32.1%
経常利益	17,250	14,312	2,937	20.5%
当期純利益	8,900	8,012	887	11.1%
1株当たり当期純利益	77.74円	68.49円		

## 遊技場事業

当社グループでは子会社の(株)新効が、パチンコ機・パチスロ機のアンテナショップとして、パチンコホールを経営しています。

中間期においては、保有する3店舗のうち1店舗を建替え工事に伴い休業しました（10ページ参照）。その結果、売上高は42億円（前年同期比27.5%減）、営業利益4,600万円（同68.0%減）となりました。通期では3店舗での営業となり、売上高109億円を見込んでいます。

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	増減額	増減率
売上高	4,226	5,829	△1,603	△27.5%
営業利益	46	144	△ 98	△68.0%

## HEIWAトピックス

コムシードの  
セントレックス上場

当社が43.6%の株を保有するコムシード株式会社が、2004年5月20日、名古屋証券取引所セントレックスに上場しました。

コムシード(株)は一般ユーザー向けにパチンコ・パチスロ情報を提供する「パチンコ倶楽部」（コンテンツプロバイダー事業）とパチンコホール向けの「パチンコ倶楽部オンライン」（アプリケーションサービスプロバイダー事業）の2つを主な事業としています。

「パチンコ倶楽部」は“公平で網羅性に富んだ情報サイト”というコンセプトのもと、パチンコ・パチスロメーカー26社との提携を実現。携帯電話向け公式サイト「パチンコ倶楽部」は3キャリア（NTTドコモ、KDDIグループ、ボーダフォン）に提供しており、有料会員数は37万人（2004年3月現在）となっています。パソコン版「パチンコ倶楽部」のURLは<http://www.pachinko-club.com/>です。ぜひご覧ください。

補給機器事業の  
分社化・新会社設立

当社は、2004年5月6日に補給機器事業を、株式会社平和サテライト（社長・坂本敏明、資本金8,000万円、従業員53名）として分社化しました。また、2004年4月30日、新たに株式会社平和サービス（社長・工藤允、資本金8,000万円、従業員13名）を設立しました。

今回の分社化・新会社設立は、平和グループの効率的な事業経営の推進と補給機器販売の機能強化を目的としています。

補給機器事業では、ホールコンピューターやパチンコ玉・メダルの補給機器などの各種周辺機器の提供・メンテナンス、店舗の内装・外装の設計・施工、立地・市場調査のコンサルティングなどを行っています。今後は、(株)平和サテライトが各種周辺機器の提供、店舗の設計・施工、コンサルティングなどを担当し、(株)平和サービスが補給機器のメンテナンスを担当します。

「第1新効」  
グランドオープン

当社グループでは子会社の(株)新効が、群馬県高崎市に3店のパチンコホールを展開しています。そのうちの1店舗「第1新効」は、建物の老朽化やライバル店との競争激化に伴い、2004年2月から建替え工事を行い、2004年8月3日グランドオープンしました。パチンコ360台・パチスロ120台、駐車場498台の規模を誇り、新たに研修施設も設けられました。

今後は、パチンコ機・パチスロ機のアンテナショップという従来の役目だけでなく、当社グループ社員の研修の場として活用していきます。

株主の皆様も高崎市までお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



## 連結・単独財務諸表

### 連結財務諸表

#### ■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期 (平成16年6月30日現在)	前中間期 (平成15年6月30日現在)	前期 (平成15年12月31日現在)
<b>(資産の部)</b>				
流動資産		131,080	108,770	132,971
固定資産		100,280	102,113	96,198
有形固定資産		24,177	23,353	23,469
無形固定資産		2,389	2,349	2,300
投資その他の資産		73,713	76,410	70,428
資産合計		231,361	210,883	229,170
<b>(負債の部)</b>				
流動負債		37,058	22,197	38,072
固定負債		1,423	1,386	1,339
負債合計		38,482	23,584	39,412
<b>(少数株主持分)</b>				
少数株主持分		475	—	—
<b>(資本の部)</b>				
資本金		16,755	16,755	16,755
資本剰余金		16,675	16,675	16,675
利益剰余金		163,927	154,677	160,663
その他有価証券評価差額金		△ 2,147	1,472	△ 1,592
為替換算調整勘定		△ 660	△ 136	△ 598
自己株式		△ 2,145	△ 2,144	△ 2,145
資本合計		192,403	187,299	189,757
負債、少数株主持分及び資本合計		231,361	210,883	229,170

#### ■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期 平成16年1月1日から 平成16年6月30日まで	前中間期 平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	前期 平成15年1月1日から 平成15年12月31日まで
売上高		78,214	50,891	118,413
売上総利益		23,990	12,899	34,465
営業利益		13,594	3,858	14,109
経常利益		11,101	4,309	14,312
税金等調整前中間(当期)純利益		11,063	3,593	13,424
中間(当期)純利益		6,420	2,026	8,012

#### ■ 中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期 平成16年1月1日から 平成16年6月30日まで	前中間期 平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	前期 平成15年1月1日から 平成15年12月31日まで
<b>(資本剰余金の部)</b>				
資本剰余金期首残高		16,675	16,675	16,675
資本剰余金中間期末(期末)残高		16,675	16,675	16,675
<b>(利益剰余金の部)</b>				
利益剰余金期首残高		160,663	155,719	155,719
利益剰余金増加高		6,420	2,026	8,012
利益剰余金減少高		3,157	3,068	3,068
利益剰余金中間期末(期末)残高		163,927	154,677	160,663

#### ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期 平成16年1月1日から 平成16年6月30日まで	前中間期 平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	前期 平成15年1月1日から 平成15年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,282	2,158	10,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,475	2,734	3,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 969	△ 3,077	△ 4,511
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 366	△ 20	△ 762
現金及び現金同等物の増減額		9,422	1,795	8,514
現金及び現金同等物の期首残高		48,818	40,303	40,303
新規連結による現金及び現金同等物の増加高		112	—	—
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		58,353	42,099	48,818

### 単独財務諸表

#### ■ 中間貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期 (平成16年6月30日現在)	前中間期 (平成15年6月30日現在)	前期 (平成15年12月31日現在)
<b>(資産の部)</b>				
流動資産		115,711	97,055	119,186
現金及び預金		31,693	26,825	34,493
受取手形		18,485	13,966	21,814
売掛金		13,346	5,561	11,605
有価証券		31,070	28,670	27,024
棚卸資産		9,824	13,884	15,170
繰延税金資産		4,517	1,567	2,431
その他の		6,987	6,591	6,858
貸倒引当金		△ 214	△ 11	△ 212
固定資産		102,534	103,735	97,949
有形固定資産		21,220	20,558	20,685
無形固定資産		76	223	156
投資その他の資産		81,238	82,954	77,106
資産合計		218,246	200,790	217,135
<b>(負債の部)</b>				
流動負債		34,405	22,129	36,022
支払手形		10,367	7,736	11,270
買掛金		12,358	9,485	17,411
未払法人税等		6,510	758	4,249
賞与引当金		539	529	147
その他の		4,629	3,619	2,944
固定負債		1,134	1,178	1,190
負債合計		35,539	23,308	37,212
<b>(資本の部)</b>				
資本金		16,755	16,755	16,755
資本剰余金		16,675	16,675	16,675
利益剰余金		153,575	144,728	150,235
その他有価証券評価差額金		△ 2,153	1,469	△ 1,597
自己株式		△ 2,145	△ 2,144	△ 2,145
資本合計		182,706	177,482	179,923
負債資本合計		218,246	200,790	217,135

#### ■ 中間損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期 平成16年1月1日から 平成16年6月30日まで	前中間期 平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	前期 平成15年1月1日から 平成15年12月31日まで
売上高		72,834	45,040	107,040
売上原価		49,890	32,709	74,362
売上総利益		22,943	12,331	32,677
販売費及び一般管理費		9,689	8,648	19,483
営業利益		13,254	3,682	13,193
営業外収益		2,707	1,549	2,830
営業外費用		5,119	1,042	2,610
経常利益		10,841	4,189	13,413
特別利益		410	36	50
特別損失		392	761	931
税引前中間(当期)純利益		10,859	3,464	12,532
法人税、住民税及び事業税		6,414	605	4,841
法人税等調整額		△ 1,893	922	247
中間(当期)純利益		6,338	1,936	7,443
前期繰越利益		137,686	133,243	133,243
中間配当額		1,431	1,431	1,431
中間(当期)未処分利益		142,594	133,748	139,255

## 関連会社のご紹介

### 株式会社平和サテライト

ホールコンピュータや補給機器など各種周辺機器の提供、店舗の内装・外装の設計・施工、立地・市場調査のコンサルティングなどを行っています。

■所在地 〒376-0002 群馬県桐生市境野町7-86  
■電話番号 0277-22-1155

### 株式会社新効

当社グループのアンテナショップ、また当社グループ社員研修の場として、群馬県高崎市に3店舗のパチンコホール「第1新効」「第3新効」「第5新効」を展開しています。

■所在地 〒370-0073 群馬県高崎市緑町1-1-19  
■電話番号 027-370-8880

### 株式会社平和サービス

補給機器のメンテナンス業務

■所在地 〒376-0002 群馬県桐生市境野町7-86

■電話番号 0277-43-7501

### 株式会社 ジャパンセットアップサービス

遊技機の設定作業業務

■所在地 〒110-0015 東京都台東区東上野2-10-10 協和アネックスビル2F

■電話番号 03-5807-8441

### 株式会社アムテックス

平和が製造する遊技機の制御回路など各種電子部品の製造を行っています。

■所在地 〒379-2202 群馬県佐波郡赤堀町大字鹿島7  
■電話番号 0270-62-7731

### コムシード株式会社

情報提供サービス事業を行っています。携帯電話およびパソコン向けのパチンコ・パチスロ関連コンテンツの配信サービスが主力事業です。2004年5月に名証セントレックスに上場。

■所在地 〒110-0005 東京都台東区上野5-6-10 台和上野ビル10F  
■電話番号 03-5807-1258

### HEIWA INSURANCE INC.

再保険業務

■所在地 アメリカ ハワイ州

### Meteor LLC

投資業務

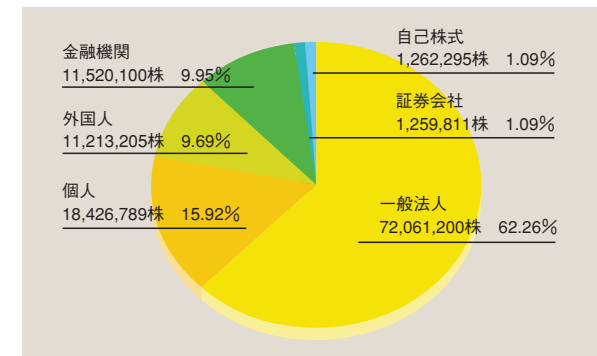
■所在地 アメリカ ハワイ州

### 株式の状況

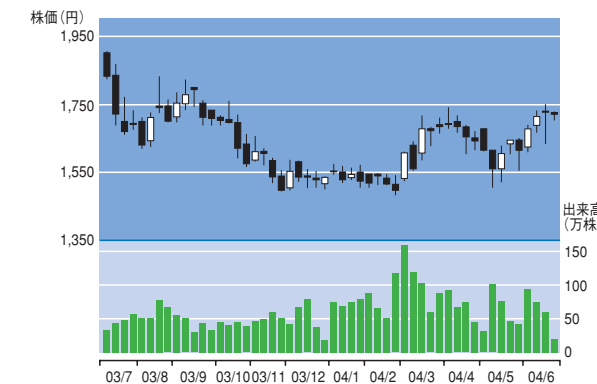
平成16年6月30日現在

会社が発行する株式の総数 228,903,400株  
発行済株式の総数 115,743,400株  
株主数 14,976名

### 株式の所有者別状況



### 株価チャート



### 会社概要

平成16年6月30日現在

商号 株式会社 平和  
(英訳名: Heiwa Corporation)  
本社 〒376-8588  
群馬県桐生市広沢町二丁目3014番地の8

URL <http://www.heiwanet.co.jp/>

創業 昭和24年

設立 昭和35年

資本金 167億5,500万円

従業員数 765名

役員  
代表取締役社長 中島 潤  
代表取締役副社長 石橋 保彦  
専務取締役 堀江 一義  
常務取締役 町田 徹  
取締役 上善 武生  
取締役 神山 利夫  
取締役 平野 征宏  
取締役(非常勤) 星山 功  
常勤監査役 井元 敏勝  
監査役 植木 功  
監査役 新井 弘二  
監査役 岸本 政昭

事業内容 パチンコ機の開発・製造・販売

パチスロ機の開発・販売

事業所 本社・工場(桐生)、六本木オフィス、北海道、東北、北関東、東京、名古屋、大阪、広島、九州 他23営業所

取引銀行 UFJ銀行、みずほ銀行、群馬銀行

関連会社 (株)平和サテライト、(株)平和サービス、(株)アムテックス、(株)新効、コムシード(株)、(株)ジャパンセットアップサービス、HEIWA INSURANCE INC.、Meteor LLC